



左から宮澤和人さん(法学部2年)、田中喜子さん(文学部2年)、江口雄基さん(生命科学部3年)、平林友也さん(法学部3年)。



6月に江古田にあるライブハウス「Buddy」で行った前期ライブ



7月に富士見坂校舎ステラピアホールで行った多摩四大学ジョイントコンサート

クラブ・サークル

ニューオレンジスウィングオーケストラ

CIRCLE My Campus, My Life

新入生歓迎会での集合写真



ニューオレンジスウィングオーケストラのHP
<http://noso.jp/>

創立50年の伝統を誇る 法政唯一のビッグバンドジャズ

プロも数多く輩出

昨年11月27日、大手町の「ピアノ・ダイニング マンハッタンブルー」で、本学唯一のビッグバンドジャズサークル「ニューオレンジスウィングオーケストラ」(略称・ニューオレンジ)の設立50周年記念式典が開催されました。「開場のBGMはグレン・ミラー、メインは「アリス・イン・ワンダーランド」「枯れ葉」などを演奏。OB・OG100人以上が訪れ、創部初期の話も聞くことができ、改めて伝統の重みを感じました」と、バリトンサクソ担当で、コンサートマスターの江口雄基さんは語ります。ニューオレンジはトランペット4人、トロンボーン4人、サクソクス5人、およびギター、ドラム、ベース、ピアノ各1人の計17人構成のビッグバンド。部員数は約50人で、コンサートの前などにオーディションが行われ、レギュラーバンド17人を決定します。選ばれなかったメンバーは、「二番手」のジュニアバンドとして活動しながら腕を磨き、次の機会に備えています。その実力は折り紙つきで、9月に開催されたコンテスト「ステラ・ジャム」にジュニアバンドが出場し、見事優勝に輝きました。岡崎正典氏、菊地武氏など、プロも多数輩出しています。

「主な活動は、年2回、ライブハウスで単独コンサートを行うほか、リサイタルを開催。また、山野ビッグバンドジャズコンテスト、太田市大学ジャズフェスティバルにも出場しています。」

さらに、多摩キャンパス近くの幼稚園の夕涼み会、下高井戸商店街の音楽祭、法政大学後援会の地方支部の催しなど、演奏依頼も増えています。「トランペット担当でバンドマスター・マネージャーの平林友也さん」と、多彩な活動を展開しています。

ニューオレンジの最大の特徴は、プロのギタリスト兼アレンジャーである山木幸三郎先生にアレンジを依頼していることです。「山木先生ならではの渋めのアレンジが、ニューオレンジの個性になっています」(トロンボーン担当でジュニアバンドコンサートマスターの宮澤和人さん)。「先生のスコアをもとに、ニューオレンジでしか聴けないサウンドを一から作り上げるために、皆で話し合いながら、オリジナルリテューを追求しています」(バリトンサクソ担当でサブマネージャーの田中喜子さん)。

今回の演奏は2月26日、新橋ヤクルトホールで「第49回リサイタル」が開催(16時開場、16時半開演。入場料800円)されます。レギュラーバンドもジュニアバンドも出場予定です。部員たちは日ごろの成果を披露するために猛練習中です。